

2025年春季大会

会 期：2025年5月21日(水)～23日(金)
会 場：パシフィコ横浜

2025年3月1日

会員各位

公益社団法人自動車技術会
会長 中畔 邦雄

2025年春季大会を5月21日(水)～23日(金)の3日間にわたり、パシフィコ横浜にて開催いたします。

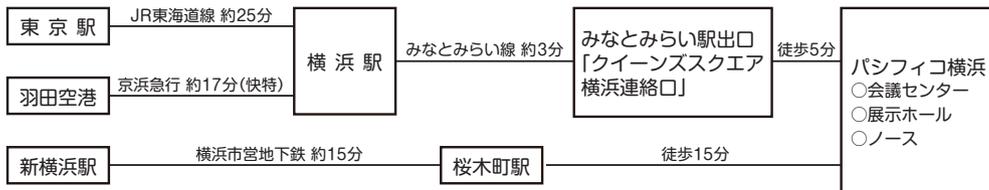
本大会では、学術講演会や自動車技術展のほか、Keynote Address、自動車技術会賞授賞式、JSAE Annual Party、学生ポスターセッションなど、会員の皆様にご満足いただけるよう、多彩なプログラムをご用意いたしました。

学術講演会では86セッション・427件の講演発表、人とくるまのテクノロジー展2025 YOKOHAMAでは、550社以上による展示を予定しております。

皆様のご参加をお待ちいたしております。



パシフィコ横浜へのアクセス



※駐車場は有料となります。



目次

会長挨拶	1
目次.....	2
2025 年春季大会概要	3
参加者へのご案内／各イベントのご案内.....	4
① 学術講演会	
② 第 75 回自動車技術会賞授賞式・第 16 回技術教育賞授賞式 自動車エンジニアレベル認定者記念品授与式・ 優秀講演発表賞授賞式（2024 年春季・秋季大会学術講演会）	
③ 第 15 回定時総会	
④ Keynote Address	
⑤ JSAE Annual Party（技術者交流会）	
⑥ 第 9 回学生ポスターセッション	
⑦ 自動車業界ウェルビーイングラボ by 女性技術者の会推進委員会	
⑧ 第 6 回若手・中堅技術者交流会	
⑨ 自動車技術展：人とくるまのテクノロジー展 2025 YOKOHAMA	
⑩ フォーラム	

行事名	参加登録／参加費	21日(水)	22日(木)	23日(金)
① 学術講演会	要／有料 ※参加資格により参加費が異なります	●	●	●
② 第75回自動車技術会賞授賞式 第16回技術教育賞授賞式 自動車エンジニアレベル認定者記念品授与式 優秀講演発表賞授賞式(2024年春季・秋季大会学術講演会)	—————		●	
③ 第15回定時総会	—————		●	
④ Keynote Address	無料 ※学術講演会か展示会の参加証をお持ちください		●	
⑤ JSAE Annual Party (技術者交流会)	要／有料		●	
⑥ 第9回学生ポスターセッション	不要／無料 ※発表者は要参加登録／有料	●	●	●
⑦ 自動車業界ウェルビーイングラボ by 女性技術者の会推進委員会	要／無料 ※当日参加も歓迎		●	
⑧ 第6回若手・中堅技術者交流会	要／無料			●
⑨ 自動車技術展： 人とくるまのテクノロジー展 2025 YOKOHAMA	要／無料	●	●	●
⑩ フォーラム	要／無料	●	●	●

2025年春季大会ウェブサイト <https://www.jsae.or.jp/taikai/2025haru/>

学術講演会について

2025年春季大会学術講演会は、昨年までのハイブリッド開催を終了し、実地開催のみとなります。

また、新たなサービスとして講演動画*の後日配信を実施します。

*講演者から公開の許可をいただいた講演になります

① 実地会場で聴講される方は、必ず大会ウェブサイトで事前に参加登録を行ってください。
当日会場での受付は行っておりませんのでご注意ください。

② 参加登録者の特典は以下のとおりです。

- ・講演予稿集の閲覧、ダウンロード
- ・後日配信の講演動画の閲覧

③ 後日配信は大会終了後、1週間を目途に開始し、1か月間公開いたします。

④③の期間まで参加登録を受け付けます。専用ページより後日配信の講演動画をご覧いただけます。参加登録費は①と同様となります。

※詳細については、上記の2025年春季大会ウェブサイトをご覧ください。

学術講演会講演予稿集

学術講演会の参加登録費には講演予稿集が含まれます。

入手方法：

電子ファイル形式での提供となります。

聴講者専用ページから「学術講演会」にアクセスいただきダウンロードください。

※聴講者専用ページは参加登録完了時に送信されるメールよりアクセスいただけます。

※予稿集の公開は5月16日(金) 10:00AMを予定しております。

参加者へのご案内

① 学術講演会

有料/参加登録要

5月21日(水)～23日(金) 各講演会場

86 セッション・427 講演 ※最新の状況はウェブサイトをご覧ください。
 タイムテーブル (随時更新) : <http://gakkai-web.net/jsae/s/2025/program>

	早期参加登録	通常参加登録
登録期間	3月上旬～5月12日(月)	5月13日(火)～6月30日(月)
登録方法	ウェブサイトでの事前登録のみ	ウェブサイトでの事前登録のみ
参加登録費 正会員 学生会員 賛助会員・一般	8,000円(不課税) 3,000円(不課税) 22,000円(税込)	10,000円(不課税) 3,000円(不課税) 24,200円(税込)
支払方法	①クレジットカード決済 ②銀行振込 ③コンビニ決済	クレジットカード決済
支払期限日	①～③すべて 5月12日(月) ※期限日までに支払が完了しなかった場合、お申込は無効となります	登録時
キャンセル時の返金	5月12日(月)まで全額返金 ※返金手数料除く	返金なし

※現地での参加登録受付は行っておりません。当日参加される場合も事前にウェブサイトで登録されるようお願いいたします。

参加登録～会場での受付までの流れ ※現地参加者向け



② 第75回自動車技術会賞授賞式・第16回技術教育賞授賞式 自動車エンジニアレベル認定者記念品授与式 優秀講演発表賞授賞式 (2024年春季・秋季大会学術講演会)

受賞者および関係者

5月22日(木) 13:45~14:45 会議センター3F

第75回自動車技術会賞(学術貢献賞/技術貢献賞/浅原賞学術奨励賞/浅原賞技術功労賞/論文賞/技術開発賞), 第16回技術教育賞, 優秀講演発表賞(2024年春季・秋季大会学術講演会)の授賞式, 自動車エンジニアレベル認定者への記念品の授与式を行います。

③ 第15回定時総会

代議員の方のみ

5月22日(木) 15:00~16:30 会議センター3F

議決事項: 2024年度決算報告の件
名誉会員推薦の件

報告事項: 2024年度事業報告の件
2025年度事業計画の件
2025年度予算の件

④ Keynote Address

無料 ※学術講演会(有料)か展示会(無料)の参加証をお持ちください

5月22日(木) 17:00~18:00 会議センター1F メインホール

講師: 三部 敏宏 氏 (本田技研工業)
司会: 藤本 直也 氏 (日産自動車/総務担当理事)
企画: 運営企画会議



⑤ JSAE Annual Party (技術者交流会)

有料/要登録

5月22日(木) 18:15~19:45 会議センター3F

技術者, 展示会出展社の方々が交流を深める機会として JSAE Annual Party を開催いたします。

参加費	
正会員・賛助会員	8,000 円 (税込)
学生会員	3,000 円 (税込)
一般	10,000 円 (税込)

⑥ 第9回学生ポスターセッション

無料/不要 *発表者は有料/要登録

5月21日(水)~23日(金) ノース 3F フォワイエ+G311

<https://www.jsae.or.jp/taikai/2025haru/student-poster-entry/>

ポスター発表を通じた学生同士、エンジニア・研究者、企業との交流の場、機会を提供します。
日頃の取組、研究内容をポスターにまとめ、発表（プレゼンテーション）していただきます。
優れた発表には優秀賞を授与いたします。

【スポンサー企業募集中】

学生ポスターセッションは、自動車業界の将来を担う人材の育成支援活動です。ご支援いただけるスポンサー様を募集しております。
本企画は参加する学生と企業様の交流機会を拡大することを目指しております。皆様の厚いご支援・ご協力をお願い申し上げます。

企画：教育会議 学生活動企画委員会

⑦ 自動車業界ウェルビーイングラボ by 女性技術者の会推進委員会

無料/要登録(当日参加も歓迎いたします)

5月22日(木) 10:30-15:00 会議センター 4F

テーマ「自動車業界における、“ウェルビーイング”について考えてみませんか?」

すべての技術者がイキイキと働くために、みんなで、自動車業界における、“ウェルビーイング”を考えます。今回も講演以外の時間帯もオープンにし、意見交換会も行います。男性のご参加も歓迎いたします。学術講演会の合間の休憩・交流の場としてお気軽にお立ち寄りください。

<予定プログラム>

パネルディスカッション

意見交換

※会場およびプログラム内容は今後変更となる可能性がございます。

詳細は当会ホームページ (<https://www.jsae.or.jp/assoc/hrd/exchange/woman/>) を随時更新しますので、ご確認ください。

⑧ 第6回若手・中堅技術者交流会

無料/要登録

5月23日(金) 10:00~17:00 会議センター 3F

本交流会は、同業他社や異業種の会員との交流を通じて、自身の価値観との違いに気づいてもらうことを目的としています。

テーマを「最新技術に触れ合い、語り合おう!」とし、同日に開催している人とくるまのテクノロジー展 2025 YOKOHAMA を見学した後、グループディスカッションを行います。

対象：33歳以下の正会員

企画：総務委員会

詳細は当会ホームページ (<https://www.jsae.or.jp/assoc/hrd/exchange/young/>) をご確認ください。

⑨ 人とくるまのテクノロジー展 2025 YOKOHAMA

無料/要登録

5月21日(水)・22日(木) 10:00~18:00, 23日(金) 9:00~16:00 展示ホール・ノース・アネックスホール

<https://aee.expo-info.jsae.or.jp/ja/> ※ご来場の際は展示会サイトでの来場登録が必要です(4月上旬開始予定)

昨年より従来の展示ホールに、ノース 1F ホールを展示会場として拡張しましたが、本年も同規模で開催します。

550社以上の出展社の展示の他、JSAE 企画展示「新しい技術との融合で創るクルマとモビリティの未来 — DX で広がる自動車技術—」や同テーマの JSAE 企画講演、新車開発講演などの主催者企画も実施いたします。

また同時開催の「人とくるまのテクノロジー展 2025 ONLINE STAGE1 (会期:5/14~6/4)」では、出展技術の検索や見学リスト作成、マップ機能など、展示会をより一層楽しんでいただく為の仕掛けをご用意しております。

展示会来場前後の情報収集に是非ご活用ください!

⑩ フォーラム

無料 / 要登録

5月21日(水)～23日(金) アネックスホール F203, F204, F205+206

プログラム詳細はフォーラム(2025年度)サイトをご覧ください。

<https://www.jsae.or.jp/assoc/event/gakkai/forum/2025ver/>

フォーラムテキストについて

■販売場所: アネックスホール ホワイエ

■価格(各テキストの価格は、5月上旬更新のフォーラムサイトでご確認ください)

会員種別	大会会場販売 ^{*1} 冊子版	大会終了後販売 ^{*2} 電子データ版
会員	3,000～5,000円 ^{*3} / 1冊	3,520円～5,280円(税込) / 1冊
一般		4,400円～6,600円(税込) / 1冊

^{*1}大会期間中、会場でのみ冊子版を販売します。大会期間中の特別価格になります。

^{*2}大会終了後は、本会サイト/文献情報検索システムから、電子データ版のみ購入いただけます。

^{*3}大会期間中は、会員資格を問わず同じ価格で購入いただけます。

🎵 5月21日(水) 開催

Y-1. モビリティ設計検証におけるDXの動向

5月21日(水)9:30-12:50 アネックスホールF203

近未来では、多様な移動手段を用いた安心安全な移動を実現するためのモビリティの設計が重要となる。そのためには、歩行者等の交通弱者が混在する環境下での自動運転車両の技術評価や交通安全施策の検証、さらには街設計など多岐にわたった設計・検証を安全かつ迅速に遂行する環境が必要不可欠となる。本セッションでは、こういった設計検証環境のDX化について、各種の要素技術とそれらを統合した共通プラットフォームを目指す取り組みについて紹介する。具体的には、「モビリティ空間のグローバルな設計・検証におけるDX検討委員会」で検討したシミュレーション技術やVR技術、データ活用型モデリング技術といったデジタル技術の紹介とそれらを統合・パッケージ化したモビリティシステムの検証用プラットフォーム構築に向けた取り組みを紹介する。

企画: モビリティ空間のグローバルな設計・検証におけるDX検討委員会

Y-2. モータースポーツ技術と文化

5月21日(水)14:00-17:30 アネックスホールF203

モータースポーツは自動車の誕生以来、その実験室として次の技術の開発、そして車の面白さを体現する役割を果たしてきました。この認識のもと自動車技術会モータースポーツ部門委員会は、モータースポーツの技術と文化をテーマに、今年も多くの方々に最新のモータースポーツに関する活動を発信できる様にフォーラムを開催いたします。

自動車産業は環境対応への大きな技術変革にあり、モータースポーツも変革が進んでいます。今年のフォーラムでは、「モータースポーツに貢献する生産技術」、そして「鈴鹿サーキットのサステナビリティ経営」、「JAF E-SPORTSの取り組み」についての最新の講演に加え、「SuperGT30周年の企画」としてのパネルディスカッションの実施を予定しています。皆様のご参加をお待ちしています。

企画: モータースポーツ部門委員会

Y-3. サーキュラーエコノミーに向けた「しくみ」作り

5月21日(水)14:00-17:30 アネックスホールF204

本フォーラムでは、サーキュラーエコノミーの実現に向けて、新たな「しくみ」作りに求められる要素を、制度と実務の視点から議論することを目的とします。たとえば、共通ルールの策定、情報共有プラットフォームの構築や、製造者・消費者、異業種間が連携するリサイクルビジネスモデルなどを、専門家・実務家による話題提供とパネルディスカッションを通して議論します。

企画: リサイクル技術部門委員会

Y-4. Cars that think and communicate I

—高度自動運転へ互いにわかりあえるクルマを目指して I—

5月21日(水)9:30-12:05 アネックスホールF205+206

自動車における自律・自動運転技術は、実用化に向けた開発が積極的に行われ、市販化の取り組みも既に始まっている。このような自動車技術の革新は、自律・自動運転（走行）に関わる技術だけでなく、人と車に関わる車載機器や車が周囲と通信することにより実現される新たなサービスなど、自動車技術のあり方が大きく影響を受け始めている。本フォーラムでは、安全で信頼できる自律・自動運転の実現に必要な、車が自ら考え、運転者や周囲と協調する技術について議論し、近未来技術やその可能性を紹介し、将来の方向性について考える。

企画：エレクトロニクス部門委員会／自動運転技術部門委員会

Y-5. Cars that think and communicate II

—高度自動運転へ互いにわかりあえるクルマを目指して II—

5月21日(水)14:00-16:40 アネックスホールF205+206

左記と同じ

企画：エレクトロニクス部門委員会／自動運転技術部門委員会

5月22日(木) 開催

Y-6. 予見性なき社会を生きる今、エネルギーと自動車の将来を考える

—xEVの本命は？将来はどうなる？—

5月22日(木)9:30-13:00 アネックスホールF203

持続可能な社会実現に向けて気候変動への対策やカーボンニュートラルを目指す世界的な流れが存在する一方で、その流れに大きな影響を及ぼす政策や技術などに関する議論の方向性は必ずしも定まっていない。我々は予見性のない状態に置かれつつも将来を展望しなければならない状況に置かれているのである。そうした中で、何が真に目指すべき価値であるのか、実現すべき将来像であるのか、本フォーラムでは、各界の専門家が集い、最新の政策や技術動向、エネルギー戦略の視点から議論を進めていくことにしたい。今後の自動車産業に関わるすべての関係者にとって、非常に意義深い場となることを目指す。

企画：エネルギー部門委員会

Y-7. 社会変革と次世代のモビリティ

5月22日(木)14:00-17:00 アネックスホールF203

近年、公共交通は輸送人員の減少で厳しい状況に直面しているが、移動需要は依然として大きく、持続可能な社会の実現には自動運転技術の活用だけでなくDXを通じた効率的な運送体制やMaaSの整備が不可欠である。また、カーボンニュートラルの実現に向け、GXによる環境負荷低減も求められている。モビリティ社会部門委員会では、DXとGXを取り入れた新しいモビリティがもたらす社会変革を見据え、自動車技術の革新と社会実装に向けて議論を行っている。本フォーラムでは、自動車分野に加えて、交通工学や医学、情報学、経営学、法学等といった広範囲の話題について多面的に議論を行う内容となっている。

企画：モビリティ社会部門委員会

Y-8. 映像情報活用の最前線

5月22日(木)9:30-13:00 アネックスホールF204

近年、ドライブレコーダーや自動運転車のLiDARなど、車載センサシステムによる映像情報の活用が加速している。本フォーラムの前半では、ドライブレコーダーを活用した映像収集システムの応用や、収集データを基にしたシーン・シナリオ生成による自動運転技術への展開について議論する。後半では、車載センサとAI技術を組み合わせた運転免許試験場での活用や、高齢者向け安全運転教育支援の最新事例を紹介し、今後の展開について議論する。本フォーラムを通じて、車載センサの可能性を探り、映像情報技術のさらなる発展に向けた議論を深める場としたい。なお、本フォーラムは一般社団法人ドライブレコーダー協議会との協賛により開催される。

企画：映像情報活用部門委員会

Y-9. 高度化による緊急通報システムの未来

5月22日(木)14:00-17:10 アネックスホールF204

事故自動緊急通報システムの新車への搭載機率は格段に高まり、このシステムを搭載した車の台数は急激な増加傾向を示している。また、既販車への事故自動緊急通報システムの導入が必要であることが認識されるようになり、実際の製品（いわゆる後付事故自動緊急通報システム）を搭載した車の台数も増加傾向である。この事故自動緊急通報システムでは、事故自動緊急通報をコネクテッドカーサービスと捉える発信側、発信情報を的確に伝える接続機関、そして救命救急を第一義の任務と捉え迅速な救援活動を行う救援機関までを含めたシステム全体像を通しての、迅速性の確保や救命救急効果の向上が重要な課題となっている。そこで本フォーラムでは、事故自動緊急通報システムの現状や取り組みについて紹介するとともに、救命救急効果の向上に向けたアプローチについて議論する機会としたい。

企画：事故自動緊急通報システム部門委員会

Y-10. 車体の最新技術 2025

5月22日(木)13:30-17:30 アネックスホールF205+206

欧州ではEuroCarBodyが毎年開催され、車体の展示を行い、材料、接合などの要素技術について現実の車体に即した議論が行われている。日本においても、要素技術も含め、車体としての最適な構造へと繋げるための総合的な議論の場の立ち上げが必要であるとの観点から、2012年より本フォーラムを継続実施している。本フォーラムでは、最新の車体のコア技術について、自動車メーカーの理解と協力のもとに数社から発表を行い、聴講者との議論を通じて、車体技術のあるべき姿を追求し、国内メーカーの総合的な車体技術力の向上に繋げる。

企画：構造形成技術部門委員会

5月23日(金) 開催

Y-11. 走行中ワイヤレス給電（電化道路）の技術開発・実証動向

5月23日(金) 9:00-12:30 アネックスホールF203

脱炭素社会の将来道路インフラ構築に向けて、走行中ワイヤレス給電の技術開発、実装試行が電化道路（ERS）での実装を目指して欧州、米国、中国などで精力的に進んでいます。日本でも柏の葉キャンパス地区で公道での実証試験が2023年秋から始まっています。

2025年の大阪関西万博でのショーケースを起爆剤として、GI（グリーンイノベーション）基金の投入で、「スマートモビリティ社会の構築プロジェクト」が進み始めています。業界横断のEVワイヤレス給電協議会（WEV）も発足し精力的な活動を始めています。

本フォーラムでは、走行中給電にとどまらず、都市社会インフラ、および道路システム、国際標準など関連する諸分野の最新の動向と将来像を、基礎から網羅的に解説・紹介します。2050年カーボンフリーを見据えて日本および世界のe-モビリティ社会を考える上で貴重な機会となります。

企画：ワイヤレス給電システム技術部門委員会

Y-13. 自動車のサイバーセキュリティ最前線

5月23日(金) 9:00-12:30 アネックスホールF204

自動車のSDV（Software Defined Vehicle）化が進む中、自動運転機能などをサイバーセキュリティの脅威からいかに保護するかが重要になりつつある。このためにサイバーセキュリティ国際法規UN-R155や、サイバーセキュリティエンジニアリングの国際規格ISO/SAE 21434に基づいた車両のライフサイクル管理が行われている。本フォーラムでは、様々な関係者に自動車を取巻くセキュリティの現状を広く伝えるとともに、最新のセキュリティインシデントや標準化動向に対する取り組み方について議論する。

企画：サイバーセキュリティ講座企画委員会／
サイバーセキュリティ技術部門委員会

Y-15. モビリティの未来に挑戦する新材料技術Ⅰ（鉄鋼）

5月23日(金) 9:00-11:20 アネックスホールF205+206

近年の自動車を取り巻く環境の変化により、従来からの課題である環境負荷低減、軽量化、燃費向上などに加えて、新たに電動化、カーボンニュートラル、そしてLCAなどへの対応も求められており、自動車の大きな変革時期となっている。材料部門委員会では、鉄鋼、軽金属、化成品分野から自動車を支える材料技術の情報を広く報知する活動を行っている。自動車の大変革を担う材料技術について、その最新の動向に焦点をあて材料フォーラムを企画した。

本フォーラムでは特に鉄鋼分野について、自動車及び鉄鋼材料メーカー関係者に加えて、日本鉄鋼協会、日本塑性加工学会との合同企画として基礎研究者も迎え、自動車用材料技術の方向性を共有したい。

企画：材料部門委員会

Y-12. モデルベース開発とモデル流通による自動車開発の革新に向けて

5月23日(金) 13:30-17:00 アネックスホールF203

経済産業省が主導したSURIWASE2.0活動を踏襲して、モデルベース開発とモデル流通を促進し自動車開発を革新的に高度化して日本の競争力を強化するため、「IMBD推進センタ」（JAMBE）が、2021年7月に設立された。本フォーラムでは、JAMBEと連携して、JAMBEでのモデル流通インターフェイスガイドラインやモデル流通促進活動、FMI（Functional Mockup Interface）や自動車技術会でのモデル流通に関する諸委員会活動、3V-SG WGや欧州でのProStep iViP、System-Xなどによるモデル接続・流通の活動事例、および、産学でのMBD応用事例などを紹介し、今後の自動車開発の革新について俯瞰・議論することを狙いとす。

企画：自動車制御とモデル研究部門委員会

Y-14. 新たなモビリティ社会に向けたイノベーションガバナンス

5月23日(金) 13:30-17:00 アネックスホールF203

自動運転の技術開発が進んでいる中で、信頼性評価の為の方法論の開発、標準化が進んでいる。また、社会が自動運転を受け入れるための、法令や制度の整備も進んでいる。しかしながら、自動運転により発展する社会を目指す為には、社会全体を一つのシステムと捉え思考していく事が重要である。本セッションでは、イノベーションが社会から正当な信頼を得て社会受容性を得るための要件を下記の観点から議論する

- ・プライバシー、安全性、公平性、多様性、持続可能性やELSIなどの観点での根本的な価値
- ・ルール設計、プロダクトデザイン、組織マネジメント、アカウントビリティ確保、紛争解決などのガバナンスの要素
- ・ガバナンスを持続するためのメカニズムとその運用に携わる産官学の役割分担

企画：モビリティガバナンス社会実装検討委員会

Y-16. モビリティの未来に挑戦する新材料技術Ⅱ（軽金属&化成品）

5月23日(金) 13:30-16:20 アネックスホールF205+206

本フォーラムでは特に軽金属・化成品分野について、自動車及び材料メーカー関係者に加えて、日本金属学会との合同企画として基礎研究者も迎え、自動車用材料技術の方向性を共有したい。

企画：材料部門委員会

会員特典!! JSAE 会員ラウンジへお越し下さい!

2025 年春季大会会期中に会員特典である JSAE 会員ラウンジを開設致します。

会員特典として個人会員の方は会員証を提示して JSAE 会員ラウンジに入室頂ければ、無料でコーヒー・紅茶・緑茶・水が飲み放題です。(セルフ方式)

会員ラウンジには電源タップも設置しておりますので、PC、スマートフォン等の充電やメールチェック等の作業も可能です。

また講演のオンライン聴講や、お弁当等の飲食も可能です。セッションの合間や会員同士の交流にご利用下さい。

なお、**当日 Web で入会申請頂ければその場で利用可能となりますので、非会員の方も是非この機会にご入会下さい。39 歳以下の方なら今年度会費無料キャンペーン実施中で大変お得です!**

会員証を持って JSAE 会員ラウンジへ Go !

開設期間：5月21日(水)～23日(金)

開設時間：21日 8:00～18:00

22日 8:30～17:00

23日 8:30～18:00

会場：パシフィコ横浜 ノース G215～218

提供内容：コーヒー、紅茶、緑茶、水、PC 電源

